

これまでの取り組み状況

これまでの取り組み状況／安全推進委員会

小型航空機等に係る安全推進委員会の開催

近年、小型航空機事故が目立って発生している状況等に鑑み、今後の小型航空機の安全対策の構築に係る調査・検討を有識者や関係団体等の意見を踏まえながら行うため、「小型航空機等に係る安全推進委員会」を定期的に開催し、新たに安全対策や安全啓発活動等の取組を推進

- 第1回委員会
平成28年12月13日
 - 第2回委員会
平成29年3月28日
- その後も年2回程度、定期的に開催

第1回・第2回委員会における検討状況

平成28年度までに「小型航空機等に係る安全推進委員会」を2回開催し、事故等の分析を行うとともに、先進的な技術の活用、国と操縦士の連携強化などの安全対策について検討

先進的な技術の活用について

委員会において先進的な技術の事例紹介

FDM
(Flight Data Monitoring)



(Actual size)
4" x 2.9" x 2"



エアバッグ付
シートベルト

AOA (Angle of Attack)
表示システム 等



これらの技術の活用可能性について今後検討

国と操縦士の連携強化

1. 定期的な技能審査の機会を捉え、操縦士のメールアドレスを収集
2. 安全情報の発信強化
 - (1) スレッド・アンド・エラー・マネジメント(TEM)に関するポスター配布
 - (2) 安全性向上につながる動画を今後作成
 - (3) 小型機安全ポータルサイトの構築の検討



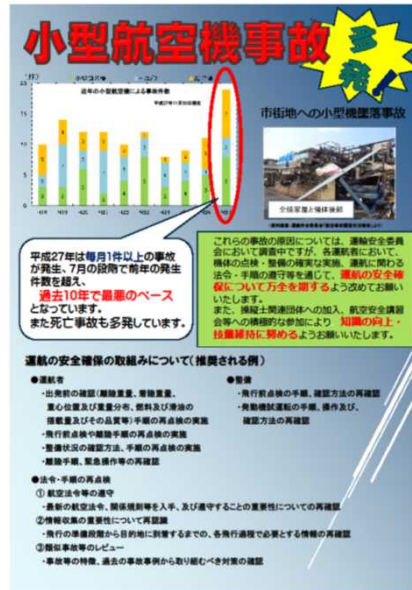
これまでの主な追加安全対策等

小型航空機による事故が目立って発生していることを受け、平成27年より幅広い対策を推進

(主な対策)

1. 小型航空機の操縦士に対する安全確保を徹底

- ・全国8つの主要空港（新千歳、仙台、東京、中部、大阪、福岡、鹿児島、那覇）や、各地区において安全講習会を開催（平成28年度実績 20回開催）
- ・定期的な技能審査を受ける際に操縦技能審査員から指導（パンフレットを作成・配布）

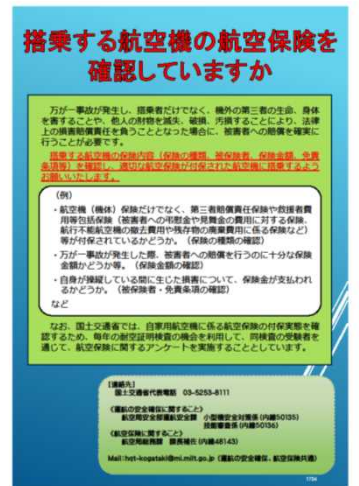


2. 小型航空機の整備士に対する確実な整備の実施を徹底

小型航空機を整備する整備士等を対象とした講習会を新たに開催（平成28年度実績 5回開催）
（丘珠、仙台、東京、調布、名古屋、大阪、八尾、福岡）

3. 自家用機の航空保険加入を促進

- ・小型航空機の操縦士に適切な保険加入を奨励・指導（パンフレットを作成・配布）
- ・自家用機が国管理空港等を使用する場合には、保険加入を条件とし、国以外が管理する空港等にも同様の措置を講じるよう指導



4. 事業許可の適切な取得の徹底

事業許可取得に関する啓発ペーパーにより、事業許可取得の必要性や無許可事業の通報窓口を自家用操縦士等に周知

